

情報知識学会第21回年次大会 シンポジウム
2013/5/25 (場所: お茶の水女子大学)

「東北大震災と地籍情報」

皆様は「地籍」をご存知でしょうか?地籍とは土地等における戸籍のようなものです。このシンポでは、下記の業界著名人等(現在調整中)を講師にお迎えし、東北大震災からの復興を振り返りながら地籍情報等の重要性や今後の方向性等について考えます。

スケジュール	講演者等	講演タイトル (仮称)
13:00-13:10	シンポ主催者	冒頭挨拶及びシンポ趣旨説明
1 地籍セッション		
13:10-13:40 (30分)	 西本孔昭氏 (日本土地家屋調査士会連合会顧問)	土地家屋調査士と地籍情報
13:40-14:10 (30分)	 鈴木 修氏 (宮城県土地家屋調査士会長)	東北大震災を通して地籍情報を考える
14:10-14:25		休憩
2 JSIKにおける地籍情報の今後の方向性検討セッション		
14:25-14:45 (20分)	 大槻 明氏 (東京工業大学特任准教授)	地籍情報ビッグデータからの知識発見
14:45-15:05 (20分)	 古崎晃司氏 (大阪大学准教授)	地籍情報の構造化に向けて —オントロジー工学およびLinked Open Dataによるアプローチからの一考察—
15:05-15:25 (20分)	 藤井十章氏 (兵庫県土地家屋調査士会阪神支部位置参照点運営委員長)	地籍情報関係の専門用語辞書構築
15:25-15:45 (20分)	 山元貴継氏 (中部大学准教授)	沖縄の近代土地台帳・地籍図に見る「災害」の記憶と対策
15:45-16:00		休憩
3 パネルセッション及び総括		
16:00-17:00 (60分)	パネリストは上記講演者を予定	

パネリストへの質問を事前受付いたします。
otsuki.a.aa(at)m.titech.ac.jpまでメールください。
{(at)を@に変えてください。}